取扱説明書

らせん階段

TEL 0798-67-8419

Handicapped-Dogs.jp

http://handicapped-dogs.jp　　e-mail: info@handicapped-dogs.jp

ウォーキン・ホイールズ Mini 取扱説明書

らせん階段

TEL 0798-67-8419

Handicapped-Dogs.jp

http://handicapped-dogs.jp e-mail: info@handicapped-dogs.jp

1.　安全に、正しく、お使いいただくために

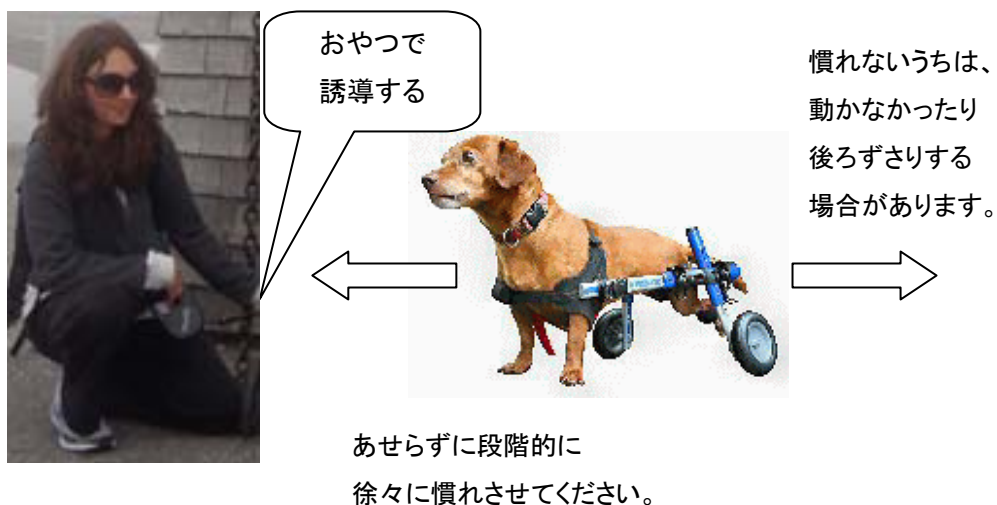
ウォーキン・ホイールズ Mini は、お客様の愛犬の体型にぴったり
フィットするように、フレームの幅、長さ、車輪の高さを調節することができます。

通常、装着後すぐに 自力で歩行するようになりますが慣れるまで
ある程度の時間、または、日数を要する場合もありますので、決して
飼い主さんがあせって無理強いをしないように気をつけてください。

※ 最初の段階は、「締付け感」、「車輪の音」、「動く方向」などに慣れて
いないために、お客様の愛犬がフラストレーションを感じる場合があります。

※ まず愛犬がハーネスをつけることに慣れるようにしてから、
ハーネスとウォーキン・ホイールズ Mini を連結するようにしてください。

※ なるべく周りに家具やドアなどの障害物のない広いスペースのあるところで
愛犬を落ちつかせた状態で装着し、おやつなどを与えながら少しずつ
歩行することに慣れさせるようにしてください。

概して動物は、動き出す時に「後肢」を使い、止まる時に、「前肢」を使用します。
そのため、ウォーキン・ホイールズ Mini を装着した初期の段階では
前進方向よりも、後退方向に動く傾向がありますので、飼い主さんが
愛犬の前側に位置して、おやつなどで愛犬が前進するように誘導するように
していただくと、徐々に前肢を動かして前進するコツを愛犬が体得していきます。

2. ウォーキン・ホイールズ Mini のパーツを確認する

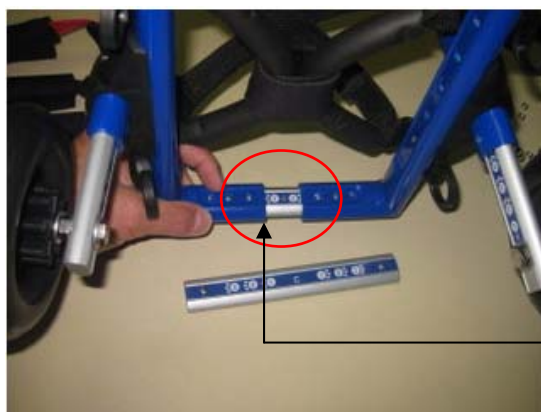
A	フレーム本体 ＋ レッグリング
B	車輪 4インチ（10cm）
C	ハーネス （クッション・スリーブ付き）
D	後肢を固定するストラップ
E	胴巾が広い愛犬に使う 交換部品（エクステンダー）
F	止めねじ（6個）と レンチ（固定する時に使用）
G	腹ベルト（胴が長い愛犬用）

3. ウォーキン・ホイールズ Mini の組み立て方法

（1） 車輪の高さの調整

フレームに、車輪を差込ます。
アレン・レンチの先でスナップボタンを
押さえて、車輪の高さを調節します。

※ 車輪の高さが足らない場合は、
青い部分のシャフトの位置を
下にずらすことも可能です。

（2） フレームの巾の調整

アレン・レンチの先でスナップボタンを
押さえて、巾を広めることができます。

※ 最初から付いているパーツの巾で
足らない場合は、長い方の交換パーツ
（エクステンダー）と取り替えてください。

（9） 車輪の高さを、カップスクリュー（止めねじ）で固定する

車輪の高さの調整後、止めねじで
左の写真の箇所を固定します。

※ 付属のアレン・レンチを使用

（10） フレームの巾を、カップスクリュー（止めねじ）で固定する

フレームの巾の調整後、
止めねじで、左の写真の箇所を
固定します。

※ 付属のアレン・レンチを使用

（11） レッグ・リングの装着と、ハーネスとフレームとの連結

ハーネスは、赤い色のベルトを愛犬の
腹部側にまわしてクリップで固定します。
ハーネスのループに、フレームを通し
左の写真のようにクリップで固定します。

レッグ・リングの端の黒いプラスチックのパーツを
フレーム外側の留めピンにあわせ、上方向に引き上げると
カチッと音がして固定されます。

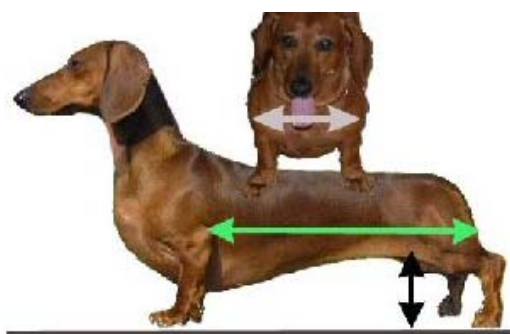
レッグ・リングは、弛まないようにセットします。

（3） フレームの長さの調整

アレン・レンチの先で、スナップボタンを
押さえて、フレームの長さを調整できます。

※ スナップボタン

25cm から 43cm まで調整可能

（4） ウォーキン・ホイールズ Mini の適合サイズ

胴の巾	10cm 〜 20cm
胴の長さ	25cm 〜 43cm
後肢の高さ	8cm 〜 25cm

（5） レッグ・リングが付いたフレームに、ハーネスを連結した写真

ハーネスは、フレームに連結する前に
愛犬に装着しておきます。

その後、ハーネスとフレームを連結します。

ハーネスは、赤いベルトの方が
下（腹側）に位置するようにします。

Handicapped-Dogs.jp

（6）　後肢を固定するストラップの取り付け

ストラップのフックをフレーム後部の留め金に引っ掛けます。

後肢が多少動かせる状態の時は
ストラップで固定する必要はありませんが
後肢が動かない場合は、このストラップに
後肢首を固定します。

※　ストラップは伸縮性のあるゴム製で
　長さを調節することができます。

（7）腹ベルトの取り付け

胴の長い愛犬、または重めの愛犬の場合に、
腹ベルトを取り付けると愛犬の負担が減少します。

（8）フレームの長さを、カップスクリュー（止めねじ）で固定する

フレームの長さが決まれば
がたがたしないように、止めねじで
左の写真の箇所を固定します。

※　付属のアレン･レンチを使用

4.　ウォーキン・ホイールズ Mini 装着後の注意点

◆ スペースに余裕のある場所で、装着の具合を試してください。

◆ 愛犬が嫌がったり、驚いたりした場合は、一旦取り外し
落ち着きを取り戻してから再度装着するようにしてください。

◆ 愛犬の動き方がおかしい場合は、ハーネスの締め付け具合、
フレームの長さ、車輪の高さを再調整してください。

◆ 愛犬が動かない場合は、おやつで誘導してみてください。

◆ 最初は、短時間の装着を繰り返し徐々に慣らすようにします。

◆ ウォーキン・ホイールズ Mini は、運動させながらのリハビリを
目的に設計されていますので、装着したまま伏せはできません。
（※） 通常、装着したままで小用、用便は可能です。

◆ ベルト類が長すぎる場合は、適度の長さで切断し
切断面をライターの火であぶるともつれてきません。

ハーネスは、赤い部分が腹側に
まわるようにセットします。
クッション・スリーブ（C）は、適当に
はさみで切って短くしてベルトの長さを
調整できるようにしてください。

5.　オプションのリア・リフトハーネス

愛犬の後部にかかる負担を軽くし、より快適な装着性が
得られるリア・リフトハーネスは、オプション（別売り）で注文することができます。

標準装備のレッグ・リング

リア・リフトハーネス（別売り）